



校長室より



令和6年3月4日

No.25

季節は三寒四温でゆっくり春へと進んでいます。3月3日（日）御坊市体育館で、「第40回日高地方障害児者のつながりを広める文化祭」が開催されました。コロナの影響で5年ぶりの開催となりましたが、約800名の参加があり、半日開催でしたが大盛況でした。つながり文化祭では、ステージ発表、作品展示、模擬販売、体験・相談コーナーがあり、昔からふれあいの場として大切にしてきた行事の復活とあって、参加されている皆さん生き生きとされていましたね。

文化祭に、みはま支援学校PTAが、フランクフルトの模擬店を出しました。久しぶりの出店となりましたが、保護者の皆様のチームワークが素晴らしく、あっという間に250本を完売していただきました。お手伝いいただいた皆さんありがとうございました。

ステージでは、プログラムのトリを飾って本校の軽音楽講座（総合的な探究の時間）のバンドチームが、「メフィスト」「怪獣の花唄」の二曲を演奏して会場を最高潮に盛り上げてくれました。文化祭や卒業生を送る会よりはるかに大きなステージで演奏ができたことは、今後の自信になると思います。

会場内には、本校のマルシェで、ものづくり（自立活動）で制作した木工製品、黒竹製品、布製品、イラスト製品、缶バッジなどを多くの方が手に取っていただけました。展示コーナーでは、一学部、二学部の児童生徒の書道や絵画作品を鑑賞してもらいました。

閉会のあいさつでも述べさせていただきましたが、このつながり文化祭が、障害の有る無しにかかわらず、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、支え合い、多様性・多様な在り方を認め合い、ウェルビーイング・誰もが幸せに生活しながら社会参加できる共生社会の実現の一助となることを願っています。

